

各職員が身近に感じている問題が大学全体の問題とどのように繋がっているかが、ディスカッションの実践を通じて明らかにできたと思う。今後、大学に戻ったときには自分の身近な問題がどう大学全体の問題とつながっているのか、あるいは、身近にあったとりのくみが大学全体として、どういった狙いがあるのかといった点を意識することで役立てたい。(30代 A 班)

職員間の情報共有が出来ていなく、迅速な対応ができない問題点があった。自分の仕事が精一杯で他の方の仕事が把握できていなかった。これからの業務に於いて常にアンテナを張り自分の仕事以外にも積極的に関心も持ち、情報収集をしていきたいと思います。(20代 A 班)

人的ネットワークの構築はもちろんだが、大学職員としての課題発見能力、創造的思考力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力のすべてが学べる研修であると思った。(20代 B 班)

情報技術をいかに整備するかに目がいきがちで、肝心なそれをいかに戦略的に活用するかという視点が軽視されていることを改めて認識させられた。(30代 C 班)

グループ研修は日々の業務に生かせるようなきっかけを多く与えられたと思う。”このような場合はこう考えたり、あのケースではあのように考えたり”と、より深く考えられる癖を付けられそうです。全国から集まり各地方の意見を聞いたことは自分にとってプラスになりました。(20代 D 班)

自分がしている業務の問題点について、これ程深く考えたことはありませんでした。県内の大学はどうかという視点から、全国の大学はどうかという視点に変わりました。問題からその解決のためのプロセスそして改善までの話し合いがとてもうまくいったと思えます。(20代 D 班)

職員になっての早い段階でブレインストーミングや KJ 法を使ったグループ討議に参加でき、非常に有意義な研修だった。また、人的ネットワークの交流もでき、今後の業務に生かしていきたい。(20代 D 班)

他大学の情報を聞くことで、自大学にも生かせる点がある、足りていない点はまだまだあると感じました。大学職員としてどのような姿勢で日々の業務を行っていくか、そして大学を良くする為に私自身ができることをしっかりと考えて今後の業務に生かしていきたいと思えます。(20代 E 班)

長時間のディスカッションを通し、自分自身と深く対話することができた。単なる「会話」ではなく、深く一つひとつの問題を掘り下げて議論して行くことは、大学職員として身に付けておくべき基本的な能力であると感じた。(20代 E 班)

常に今現在ある問題点を探り、見つけ、改善、向上にむけて新しい発想をする必要があることを学んだ。(20代 E 班)

大学職員になって3ヶ月ほどしかたっていない私にとって、とても勉強になりました。それぞれの大学が抱えている問題や課題をお互いに出し合って、それらを解決するにはどのようにしたら良いかなど、全国の私学職員の方々と議論しあう機会は少ないと思うので、参加して本当によかったなと思えます。情報活用の重要性を学び、今後、大学で働いていく上で役に立てていきたい。(20代 F 班)

社会人基礎力の一つとして言われている考え抜く力を鍛えてもらったと思えます。アイデアが枯れ、疲れて何も思いつかないと思うときも話し合いの場から逃げないでテーマや課題を 5W1H などの視点で考え、もう一息搾り出すような努力、考え抜くことを、体験をもって学べた。業務でもこういった作業をすることが多々あるので新人なんだろう、いいわけに隠れないで力を発揮したいです。(20代 F 班)